

緑のセンターだより

No.284 令和4年11月1日発行

発行元：(公財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

シモバシラ

2005年12月9日早朝、かねてから申し合わせていた相談員仲間T氏と公園内の野草園へ向かった。当時の確かな気温は不明だが、マイナスであることは間違いない。条件は、晴れた早朝、気温は-2~-3°C、積雪がないこと、とだったので、この朝はまさに条件を満たしていた。

野草園の入り口から5mほど入った右側にその株がある。早速屈みこんで現象を確認、出ていた！すっかり枯れこんだ株元に枯葉を押しのけるように噴出した白い塊、シモバシラ！ソフトクリームを絞り出したような柔らかい塊が数株の株元を覆うように出現している。二人は夢中でカメラのシャッターを切っていた。シモバシラの現象を見るために二人で集合したのは、実はこの日で3度目。ようやく目的が達成された瞬間だった。



シモバシラ シソ科 シモバシラ属

* * * * *

初冬の寒い早朝に草地の地面に上がる水分が凍って出来る氷柱を「霜柱」と言いますが、この表題となっている「シモバシラ(霜華)」は、特定の野草にその現象が現れることから命名されたものです。

シモバシラは多年草で、自生地は本州（関東以西）～九州で、山の木陰に生えます。豊平公園の野草園には植栽した株が生育しています。自然では低山の木陰で水はけのよい環境に自生し、草丈は40~70cm、茎はシソ科草本に見られるとおりに角ばっていて、自生地では9~10月、豊平公園では10月中旬頃に茎上部の葉腋から数節の花序を立ち上げ、長い蕊（しべ）の目立つ白花を花茎の片側に多数付けます。茎葉がほぼ枯れた状態の株が初冬の早朝に低温に遭遇すると株元の茎に霜状の塊ができます。

この現象は①初冬、②晴天の早朝、③気温-1~-3°C、④積雪が無く地面が乾燥している、が条件です。シモバシラの地上部が枯れても根は活動を続け、枯れた茎の導管に水が吸い上げられ続けます。外気温が氷点下になるとこの導管内の水が凍り、膨張して霜柱のような氷柱ができます。この現象は地中の根が凍るまで続きます。

条件が整った日の朝、豊平公園の野草園で「シモバシラ」を確かめてみませんか。

参考文献：「日本の野草」山と渓谷社 「原色日本植物図鑑」保育社 「日本の野生植物」平凡社
「趣味の園芸別冊」NHK出版 「山野草 2525」栄の葉書房 他

11月の園芸作業

ここに記載した以外の作業も沢山ありますので
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問合せください。

緑の相談受付 10:00~12:00 13:00~16:00

★豊平公園 811-9370 月曜以外毎日（月祝日の場合は、翌平日が休み）

★百合が原公園（冬期間なし）

★平岡樹芸センター 883-2891 毎週 水、土（11月5日まで、冬期間なし）

作業時期			作業内容
	上旬	中旬	下旬
屋外園芸	庭木	冬囲い	高木（イチイ・マツ類）は雪吊り、低木は雪折れ防止の冬囲い 冬囲いの防風ネット・コモ等の合わせ面は南側にしておくと良い
	果樹	剪定	ブドウは落葉10日後以降に剪定
		冬囲い	低木果樹は雪折れ防止の冬囲い
	花木	剪定・冬囲い	バラは冬囲いのできる高さに剪定。フジ・ボタン・ボケなどは花芽が残るように剪定 耐寒性が強くない花木（ボタン・サツキ等）は防風ネットやコモ掛けも行う
	野菜	菜園片付け	野菜の茎葉残滓と手竹等の清掃・整理
		来年準備	来春への準備。堆肥散布・剣先スコップ等で耕起反転
	花壇	球根植	植え遅れたチューリップ・スイセン等の植え付け
		植替え	ユリの球根は2~3年毎に植替え（中旬くらいまで）
室内園芸	芝生	清掃	芝生の上に落ちた枯葉やゴミの清掃
		防除	根雪前に殺菌剤を散布し、雪腐れ病防除
	鉢花	置き場所	窓際の明るい場所で管理。窓からの冷気に注意
		温度管理	シクラメンの温度管理に注意する。日中20°C前後、夜間12~15°C程度
		短日処理	12月の開花に向け、ポインセチアの短日処理を継続。
	洋ラン	置き場所	シンビジウムは10~20°Cの明るい室内で管理し、基本5°C以上を保つ。
		病害虫	アブラムシ、カイガラムシなど害虫に注意
多肉植物	管理	多肉植物・サボテン冬型種以外は休眠期。休眠期のサボテンは断水。乾き具合時々確認	
		短日処理	シャコバサボテン・カラソコエは短日処理の継続
	観葉植物	整枝・剪定	伸びすぎた枝・ツルを適当な長さに剪定
		繁殖	剪定枝を利用した挿し木（適期では無いが可能）

園芸Q&A

Q マンションのベランダでの鉢物やプランターの冬越しの方法があれば教えてください。

A マンションのベランダは同じマンションでもベランダの方角や階層などにより、鉢の保温を期待できるほど雪が積もりません。そんな場所では、本来札幌でも越冬できる植物だとしても暖かい室内へ取り込むしかないように思えますが、寒さにとても強い植物の鉢物やプランターは次のように準備してあげると良いでしょう。

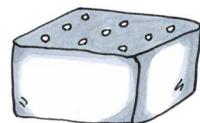
①発泡スチロールの箱（背の高い物ほど良い）を用意し、底に水抜き用の穴を数カ所開けてください。

②ここに鉢を入れて、あいた空間を発泡スチロールの欠片や新聞紙を湿めさせて軽く丸めたものを詰めています。

③多少でも積雪がある場所では、発泡スチロールの箱の中の鉢の上に雪を乗せて鉢の土の乾きを防止します。

雪の無い場所の場合は、鉢の表面や発泡スチロールの箱内の詰め物の上に、新聞紙やタオル等を乗せておき、土の乾きを防止するために時々水を掛けます。新聞やタオルは風で飛ばされないよう工夫しましょう。月に一回くらいは鉢の様子も見るようにして鉢土が乾ききっていないか確認して下さい。

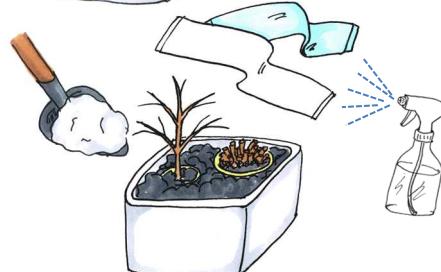
④雪が積もらない・風当たりの強いベランダの場合は、不織布や防風ネットなどを設置して風避けをするようにしましょう。



①発泡スチロールの箱の底に穴を開ける



②箱に鉢を入れ隙間と鉢土の上に湿らせた新聞紙などを詰める



③箱や鉢の上にかぶせるように湿らせた新聞紙やタオル等をかける。飛ばされないよう注意。雪があるときは雪をかぶせるだけで良い。

展示会 情報

豊平公園

洋ラン展

11/8 (火) ~11/13 (日)
最終日16:00まで

シクラメン展

11/15 (火) ~11/20 (日)

ハンドメイド・クリスマス展
12/6 (火) ~12/18 (日)



百合が原公園

秋のサルピア展～鮮やかな秋の装い～
10/12 (水) ~11/6 (日)

クリスマスディスプレイ展
～個性あふれるナチュラルリース～
11/8日 (火) ~12/18 (日)



カンツバキ系'獅子頭'

色づいた木々の葉が、近づく冬の気配を感じ落葉し始める頃、百合が原緑のセンター大温室では、凜とした花姿が美しい早咲きのツバキやサザンカの開花が続きます。11/8 (火) からは、冬に向かうこの時期にピッタリな「クリスマスディスプレイ展」を開催。会場の中温室には公園内の植物が飾られ、ナチュラルなリースやスワッグなどが彩りを添えます。和と洋の趣溢れる百合が原緑のセンターに足を運んでみませんか？



〒002-8082
北区百合が原公園210
TEL 011-772-3511

JR学園都市線
'百合が原' 駅下車
徒歩7~10分

百合が原公園

豊平公園

洋ラン展

11/8 (火) ~11/13 (日)
最終日16:00まで

シクラメン展

11/15 (火) ~11/20 (日)

ハンドメイド・クリスマス展
12/6 (火) ~12/18 (日)

南国の植物たち



豊平公園緑のセンター2階ホールで展示中のフウセントウワタは南アフリカに分布する亜低木。小さな白い花と風船のような形に柔らかい突起のついた果実をつけています。

また原種系アンスリウム フーケリーは赤い種、常設温室ではゴクラクチョウカの花が咲き、フリキダチアロエの蕾など寒い季節でも楽しめます。



〒062-0905
豊平区豊平5条13丁目
TEL 011-811-6568

地下鉄東豊線
'豊平公園' 駅下車
1番出口徒歩1分



和と洋の冬の楽しみ



カンツバキ系'獅子頭'

色づいた木々の葉が、近づく冬の気配を感じ落葉し始める頃、百合が原緑のセンター大温室では、凜とした花姿が美しい早咲きのツバキやサザンカの開花が続きます。11/8 (火) からは、冬に向かうこの時期にピッタリな「クリスマスディスプレイ展」を開催。会場の中温室には公園内の植物が飾られ、ナチュラルなリースやスワッグなどが彩りを添えます。和と洋の趣溢れる百合が原緑のセンターに足を運んでみませんか？

11/6まで開園



11月に入り樹芸センターの紅葉はいっそう鮮やかさを増していきます。ノムラモミジ並木や日本庭園の紅葉をお楽しみ下さい。また、紅葉シーズン中は移動販売車による軽食の販売もあります。



〒004-0874
清田区平岡4条3丁目
TEL 011-883-2891

地下鉄東西線
'大谷地駅' から
中央バス (大69)
'平岡4条2丁目' 下車
徒歩1分

イベント情報 (11月~12月)



豊平公園緑のセンター

☎ (011) 811-6568
<https://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

【園芸教室・クラフト講習会】	開催日	時間	教材費	定員	申込開始
コチョウラン植え替え講習会	11月3日(木)	9:00~16:00 完全時間予約制	実費 (千円程度)	12名	定員になりました
ナチュラルリースを作ろう	11月6日(日)	13:30~	2000円	10名	定員になりました
洋ランの冬の管理	11月12日(土)	13:30~	200円	20名	受付中
シクラメン他冬の鉢花の室内管理	11月19日(土)	13:30~	200円	20名	11/11(金)~

洋ラン展 11/8 (火) ~11/13 (日)

今年で41回目となる洋ラン展！！

緑のセンター1階アトリウムは

コチョウラン、カトレヤ、デンドロビウムなど豪華で鮮やかな洋ランの香りに満たされます。

期間中は洋ランの販売もあります。

また、12日の園芸教室「洋ランの冬の管理」

(13:30~ 参加費200円) は申し込み受付中です。

ぜひ豊平公園緑のセンターで洋ランの魅力を

ご堪能ください。



シクラメン展 11/15 (火) ~11/20 (日)



あちらこちらでシクラメンが見られる季節となりました。シクラメンは球根が丸いことからギリシャ語で「丸い、回転する」を意味する

「Cycle」が語源とされています。色とりどりのシクラメンの展示販売となります。ぜひお気に入りの一鉢を探してみてください。

また19日には園芸教室「シクラメン他冬の鉢花の室内管理」(13:30~ 参加費200円 申込受付 11/11(金)より)を開催いたします。ぜひ皆様のお越しをお待ちしております。